

取扱説明書

CAN通信車専用マルチゲージ

X2R

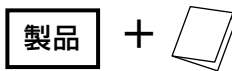
MULTI GAUGE ø60

この度は PIVOT 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
 ございます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解のうえで
 装着・使用してください。

なお、本書は大切に保管してください。

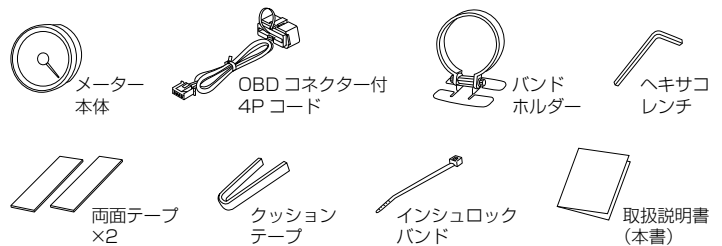
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	2
各部の名称	2
各表示と用途	2
配線接続方法	3
製品の固定	3
基本操作方法	3
各表示切替と設定方法	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しないため、取付できません。
2. 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。

警告

下記内容を見逃して誤った取り扱いを
 すると、人が死亡または重傷を負う可
 能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
 ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電
 装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますの
 で、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
 製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならな
 い状態にしてください。

注意

下記内容を見逃して誤った取り扱いを
 すると、人が傷害を
 負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性
 があります。

- DC12V車で使用する
 本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
 両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
 ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
 アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
 故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

X2Rは、故障診断コネクタに差し込むだけでCAN通信を解析し、エンジン回転・水温・シフトランプを表示できるメーターです。

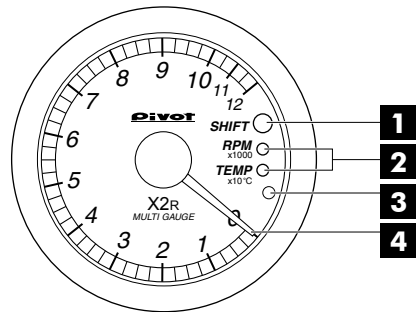
スムーズアクション	独自制御で、なめらかな針動作	ステッピングドライブ	高精度ステッピングモーター採用で高精度表示
2種類表示	エンジン回転・水温の2種類を切替表示	見やすいLED透過照明	ムラのないLEDによる透過照明(作動中は常時点灯)
ピークホールド	ピーク値を記憶し表示(水温のみ)	カプラーオンの簡単装着	故障診断コネクタに差し込むだけの、簡単装着
シフトランプ	設定したシフトポイント(エンジン回転数)を超えると点滅		

各部の名称

- 1 シフトランプ** 設定したシフトポイント以上で点滅します。
- 2 モードランプ** 使用しているモードを表示します。
- 3 スイッチ** モードの切り換えやピーク値リセット、またシフトポイント設定時に使用します。
- 4 針** 現在の数値やピーク値を指します。

照明の消灯について

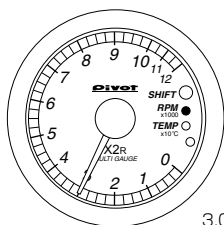
本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはエンジン停止から照明が消えるまで、最長3分かかりますが、正常な動作です。



各表示と用途

1. エンジン回転

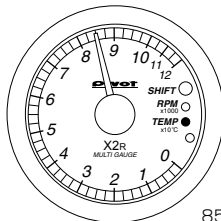
表示 0~12,000rpm
用途 ●エンジン回転チェック など



3,000rpm 表示例

2. 水温

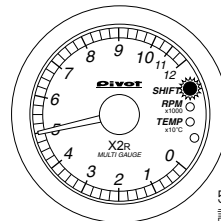
表示 0℃~120℃
用途 ●オーバーヒート
 ●暖機チェック など



85℃ 表示例

3. シフトランプ

設定範囲 3,000~10,000rpm
用途 ●オーバーレブ防止
 ●エコ運転の心がけ など



5,000rpm
設定時の点滅例

4. ピークホールド

用途 ●最高水温チェック

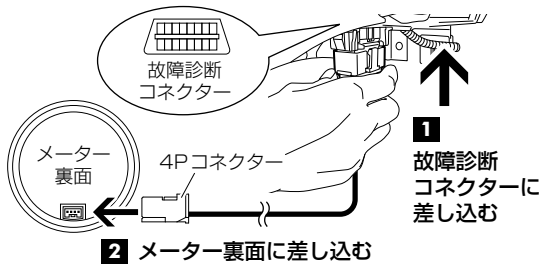
オープニングデモ

オープニングデモのとき、針はマイナス方向に小刻みに複数回動きます。その後最大値を指し、現在の表示項目に移行します。

※CAN通信解析のため、エンジン始動後オープニングデモまで最長5秒かかる場合があります。

配線接続方法

- 1 OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。
- 2 4Pコネクタをメーター裏面に差し込む。



【資料】故障診断コネクタ位置図

トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④
三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

① アクセルペダル脇
 ② 運転席足元右側 (フタ付の場合あり)
 ③ 運転席足元中央
 ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
 ⑤ センターコンソール右脇
 ⑥ 助手席足元右側
 ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)
 ⑧ 助手席足元左側
 ⑨ センターコンソール左側
 ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部)

【参考】OBDコネクタの取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

⚠ 注意

コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

❗ OBD製品の併用について

X2Rを3-driveシリーズ (FLAT、COMPACT) と併用する場合は、別売のOBD2配線キット (OBD-EH ¥3,200・税別) を使用すると簡単に取り付けられます。

製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。

http://pivotjip.com/information/obd_conjunction.html

※X2Rと上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

製品の固定

車内の見やすい場所に取り付けます。

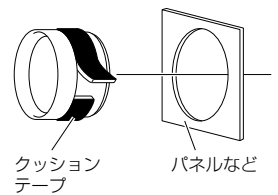
A. バンドホルダーを使用する

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュ上など)

- 1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 装着面の形状に合わせて、スタンドを曲げる。
- 3 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)
- 4 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

B. パネルなどに埋め込む

- 1 メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 2 直径60mmの穴に圧入状態で差し込む。



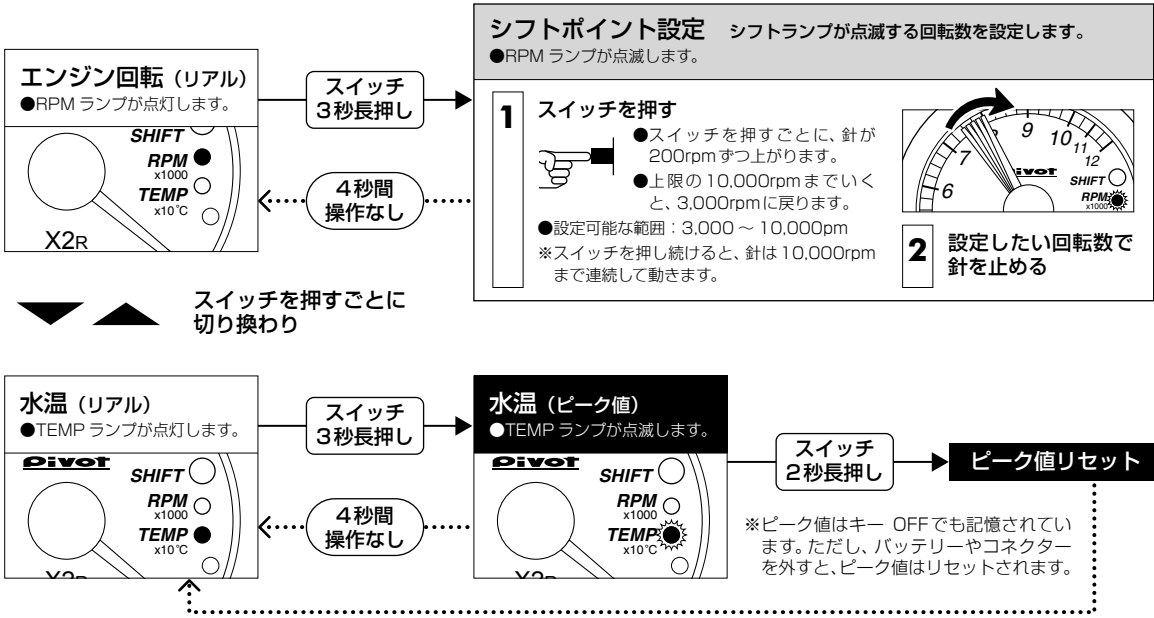
基本操作方法

- 1 キースイッチをONにする (エンジン始動)
- 2 オープニングデモ開始
- 3 エンジン回転/水温表示 (シフトランプ点滅)
- 4 キースイッチをOFFにする (エンジン停止)
- 5 メーターOFF ●針は0付近で止まります。

❗ CAN通信解析のため、エンジン始動後オープニングデモまで最長5秒かかる場合があります。

各表示切替と設定方法

スイッチを押すごとに、エンジン回転/水温表示が切り換わります。



故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	4P コネクター・OBD コネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
始動時、切り換えたモードから始まらない。	モード切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズレる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
シフトランプが発光しない。	シフトポイント設定をした回転数に達していない。	上記「シフトポイント設定」をご参照の上、設定した回転数をご確認ください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。